

令和4年度 事業実施報告書

一般社団法人北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	能越道交流会	事業経緯	継続	実施体制	協賛	担当所属	富山支所・金沢支所
事業名 (大項目)	地域づくり活動促進事業	分類名 (中項目)	地域連携・交流促進支援事業			事業区分	展示会、〇〇ショー

1. 事業目的

一般国道470号能越自動車道は、石川県輪島市を起点とし、富山県小矢部市に至る延長約100kmの自動車専用道路である。
 本事業は、七尾氷見道路が平成27年2月28日に全線開通したことを契機に、今後のさらなる交流人口の拡大、継続的な地域活力の向上及び能越自動車道沿線の魅力を広く発信することを目的に開催する。

2. 事業実施体制

主催：能越商工観光懇談会（7商工会議所、1商工会）（主管：砺波商工会議所）
 共催：能越自動車道建設促進期成同盟会
 協賛：（一社）北陸地域づくり協会
 後援：国土交通省富山河川国道事務所・金沢河川国道事務所
 協力：砺波市、（一社）砺波市観光協会、となみ野農業協同組合

3. 事業実施概要

催事名：「第6回能越道フェスティバル」

日時：令和4年9月3日（土）9:45～17:00

会場：砺波市文化会館

プログラム（一部は9月4日も実施）：

- ① ステージイベント（演奏、SDGs取組企業PR ほか）
 - ② 能越道事業効果PR及びフォトコンテスト作品パネル展示
 - ③ 能越道沿線自治体による特産品・地場産品の販売 など
- 参加者：約9,000人（9/3）、約19,000人（9/4）

* 同時開催（コロナ禍で単独での集客は困難と判断）
 となみ産業フェア「パワー博2022」（9/3-9/4）

4. 事業実施による効果（評価・貢献度等）

能越道全線開通後の平成7年度から開催し今年で6回目。コロナ禍で3年ぶりの開催となった（令和3年度はフォトコンテストを実施）が、県境を越えた連携の強化、さらなる地域間交流の拡大を図り、北陸新幹線開業との相乗効果で地域活性化に寄与している。

- 本事業開催の効果として、以下に示す事項が挙げられる。
- ・能越道をはじめとした道路事業への理解促進
 - ・整備効果（ストック効果）の発信
 - ・県を跨いだ交流人口の拡大
 - ・広域からの観光客誘致
 - ・能越道沿線の地域活性化



↑テープカット、ステージイベント→



能越道沿線自治体物産市



能越道事業効果
パネル展示

